

主日礼拝

2023 年 09 月 10 日
午前 10 時 30 分

前奏 「われ悩みの極みにあるとき」
(J.S.バッハ)

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

「こういうわけで、兄弟たち、神の憐れみによってあなたがたに勧めます。自分の体を神に喜ばれる聖なる生けるいけにえとして献げなさい。これこそ、あなたがたのなすべき礼拝です。」(ローマの信徒への手紙 12:1)

頌栄 26「グロリア」



グロリア グロリア グロリア ちちとみ子に
グロリア グロリア グロリア せいなる霊に

交読詩編 142:2~8

司式者：声をあげ、主に向かって叫び
会衆：声をあげ、主に向かって憐れみを求めよう。
司式者：御前にわたしの悩みを注ぎ出し
会衆：御前に苦しみを訴えよう。
司式者：わたしの霊がなえ果てているとき
会衆：わたしがどのような道に行こうとするか
あなたはご存じです。
司式者：その道を行けば
会衆：そこには罾が仕掛けられています。
司式者：目を注いで御覧ください。
会衆：右に立ってくれる友もなく
司式者：逃げ場は失われ
会衆：命を助けようとしてくれる人もありません。
司式者：主よ、あなたに向かって叫び、申します
「あなたはわたしの避けどころ
会衆：命あるものの地で
わたしの分となってくださる方」と。
司式者：わたしの叫びに耳を傾けてください。
会衆：わたしは甚だしく卑しめられています。
司式者：迫害する者から助け出してください。
会衆：彼らはわたしよりも強いのです。
司式者：わたしの魂を枷から引き出してください。
会衆：あなたの御名に感謝することができますように。
司式者：主に従う人々がわたしを冠としますように。
会衆：あなたがわたしに報いてくださいますように。

祈禱

献金

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくは み名をあげさせたまえ。
み国を来らせたまえ。
みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、
悪より救い出したまえ。
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの
なればなり。
アーメン。

賛美 32「キリエ・エレイソン」



キリエ エレイソン キリエ エレイソン
しよよあわれみをしよよあわれみをしよよあわれみを
キリエ エレイソン キリエ エレイソン キリエ エレイソン
しよよあわれみをしよよあわれみをしよよあわれみを

聖書 ルカによる福音書 14:25~35

新約(新共同訳)P137~P138

25 大勢の群衆が一緒について来たが、イエスは振り向いて言われた。26 「もし、だれかがわたしのもとに来るとしても、父、母、妻、子供、兄弟、姉妹を、更に自分の命であろうとも、これを憎まないなら、わたしの弟子ではありえない。27 自分の十字架を背負ってついて来る者でなければ、だれであれ、わたしの弟子ではありえない。28 あなたがたのうち、塔を建てようとするとき、造り上げるのに十分な費用があるかどうか、まず腰をすえて計算しない者がいるだろうか。29 そうしないと、土台を築いただけで完成できず、見ていた人々は皆あざけて、30 『あの人は建て始めたが、完成することはできなかった』と言うだろう。

31 また、どんな王でも、ほかの王と戦いに行こ

うとするときは、二万の兵を率いて進軍して来る敵を、自分の一万の兵で迎え撃つことができるかどうか、まず腰をすえて考えてみないだろうか。32もしできないと分かれば、敵がまだ遠方にいる間に使節を送って、和を求めるだろう。33だから、同じように、自分の持ち物を一切捨てないならば、あなたがたのだれ一人としてわたしの弟子ではありえない。」

34「確かに塩は良いものだ。だが、塩も塩気がなくなれば、その塩は何によって味が付けられようか。35畑にも肥料にも、役立たず、外に投げ捨てられるだけだ。聞く耳のある者は聞きなさい。」

賛美 511 「光と闇とが」


Once to every man and nation
詞：James R. Lowell, 1819-1891
TON-Y-BOTEL
曲：Thomas J. Williams, 1869-1944



1 ひかーりとやみーとーが たたーかーう こーの世、
2 ほまーれとさかーえーを うけーるーの はーだれ、>
3 殉教ー者のほーおーを こーの身ーに うーけて、>
4 こーの世のちかーらーは いきーおーい つーよく、>



せいーぎとふぎーとーが あらーそーう とーころ。
> えいーえんのかんむーりーを うけーるーの はーだれ。>
血にーそむわがー主ーの あしーあーと たーどり
> しんーりのひかーりーを おおーうーと きーにも >



いまーこそわれーらの けつーだん のとーき、
> あくーまのゆうーわく はげーしいとーきーも >
く なーんとしれーんの けわーしいみちーも
> われーらのめあては えいーえんのみくーに、>



ためーらいひるーむーな、くいーをーの こーすな。
> しんーりに たつーなーら うごーかーされーない。
十字ー架をおいーつーつ ひたーすーら すーすめ。
> しょうーりを えるーまーで かみーはーみちーびく。

- | | |
|--|--|
| 1 光と闇とが 戦うこの世、
正義と不義とが 争うところ。
今こそわれらの決断の時、
ためらいひるむな、悔いを残すな。 | 3 殉教者の炎を この身に受けて、
血に染むわが主の 足跡たどり
苦難と試練の 険しい道も
十字架負いつつ ひたすら進め。 |
| 2 誉れと栄を 受けるのは誰、
永遠の冠を 受けるのは誰。
悪魔の誘惑 激しい時も
真理に立つなら 動かされない。 | 4 この世の力は いきおい強く
真理の光を おおう時にも
われらの目当ては 永遠のみ国、
勝利を得るまで 神は尊く。 |

説教 「イエスさまと共に十字架を背負う」

賛美 432 「重荷を負う者」

I heard the voice of Jesus say
詞：Horatius Bonar, 1808-1889
KINGSFOLD
曲：イギリス伝統旋律



1 「おーもにを おうもの、まーようもーのよ、
2 「かーわいてい るもの、つーかれたーもの、>
3 「こーの世のつ とめになーやむもーのよ、



だーれでも きなさい、たーめらわーず に」。
> だーれでも きなさい、たーめらわーず に」>
だーれでも きなさい、たーめらわーず に」。



まーねきにーした がいわーたしーはゆく。
> いーのちのー主 イエスにわーたしーはゆく。>
ひーかりのー主 イエスにわーたしーはゆく。



なーぐさめーとーへい わうーけるたーめに。
> 生きたそーのーみずをのーみほすーため。
おーわりまーでーとも にあーゆむたーめに。

- | | |
|---|---|
| 1 「重荷を負う者、迷う者よ、
誰でも来なさい、ためらわずに」。
招きに従い 私は行く。
慰めと平和 受けるために。 | 2 「渴いている者、疲れた者よ
誰でも来なさい、ためらわずに」。
いのちの主イエスに 私は行く。
生きたその水を 飲みほすため。 |
| 3 「この世の務めに、悩む者よ、
誰でも来なさい、ためらわずに」。
光の主イエスに 私は行く。
終わりまで共に 歩むために。 | |

派遣

司式者 主は言われます。
「わたしは誰を遣わすべきか。」
会衆 わたしがここにおります。
わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン



アーメン アーメン アーメン

後奏 「全世界の慰め主なるキリスト」 (J.S.バッハ)

司式 大代 恵
説教 向井 希夫牧師
奏楽 福原 之織

※お立ちになるのが困難な方は、
座ったままで礼拝をお守り下さい。
※讃美歌の最後には、基本的に「アーメン」を付けません。